

2009年4月2日
京都FD開発推進センター

山形大学 訪問報告

日時：平成21年3月24日（火）～25日（水）

場所：山形大学 小白川キャンパス

参加者：深野、川面（FD開発推進センター）、三上副局長（大学コンソーシアム京都）

1日目

山形大学 高等教育企画センター 小田教授、杉原講師との面談

同日、「授業評価」についてのヒアリングの目的で訪問されていた長崎大学の方々とともに山形大学および山形地域でのFD取組についてレクチャーいただいた。

具体的には平成11年度から始められた教養・教育課程での授業評価アンケートの実施概要、導入の際の流れ、何が成功の鍵となったかについて、をお話しいただいた。授業評価に抵抗のある教員への対応としては、組織の中での個の位置づけを知ることが重要だという説明をし、理解を求めるべき、組織性と個というもののバランスが大切だと指摘された。結果の分析については毎年、実施しているとのこと。

また非常勤も対象としたベスト・ティーチャー賞を実施。こちらについては実施方法を精査した上で大学コンソーシアムが実施することで教員のポートフォリオ代りになり得るとの示唆もいただいた。

2日目

大学コンソーシアムやまがた 樋口事務局長との面談

SDについてのヒアリングを実施。

平成15年度よりのSD活動についてと来年度の事業の一つとして企画されている山形地域でのSD取組、および昨年度から開始された立命館大学との人材交流についてご説明いただいた。

SD活動については小田教授のFD研修の手法をSDに応用した形で、提案→Planning→Executeまでを一連の流れとして実施。のべ100人以上が参加。大学院進学を奨励し（費用の半額負担）、すでに山形大学では実施している今後も職員リーダーの育成を視野に進めていくとのこと。

立命館との取り組みについては5対5での相互訪問、テレビ会議システムを利用した定期的なミーティングを実施し、GPの共同提案を目標に政策立案を行う予定であるとのことであった。

以上